

肩こりの病態と徒手療法

- 僧帽筋の病態から治療・管理まで -

肩こりは日常的な訴えではありますが、その病態について十分知られていません。本講習会では研究報告を基に肩こりの病態について始めに学習します。そして、肩こり患者に使用する軟部組織の治療、関節の治療を練習します。さらに、機能解剖から神経根症、頸髄症に進展する可能性についても学習します。講師の「肩こり相談」経験も含め紹介します。一部実技練習も含まれます。

日 時 平成 24 年 8 月 19 日(日) 9 時から 15 時

講 師 佐藤友紀(セントオーガスティン大学公認指導者)

増井健二(セントオーガスティン大学公認指導者)

内 容

1. 肩こりの病態

なぜ僧帽筋が？四肢の筋と比較して僧帽筋に違いはあるのか？

肩こり同様の症状は海外では何と呼ばれているのか？

肩こり患者の僧帽筋の形態的变化と血流, などこれまで諸外国の研究で何が言われているのか紹介します。

2. 治療と管理

筋, 関節, 姿勢指導など偏りないアプローチを展開する必要性の理解

3. 実技

基本的な筋のストレッチから軟部組織マニピュレーション, 頸椎・上部胸椎関節運動検査と治療
セントオーガスティン大学の徒手療法講習会を受講してこられた方には、特に役立つ内容であります。

この講習会は認定理学療法士・専門理学療法士履修ポイント基準 2-4 に該当し、
10 ポイント取得できます。

会 場 大阪回生病院(JR 新大阪駅前)

参加費 日本徒手療法学会 会員 7000 円, 非会員 10000 円

主 催 日本徒手療法学会

後 援 公益社団法人 日本理学療法士協会

申し込み先 日本徒手療法学会 事務局

メール:jsmt@kaisei-hp.co.jp

申込方法 メールにて件名に「肩こりの病態と徒手療法」と明記の上、

①名前 ②日本徒手療法学会 会員・非会員 ③所属施設名

④所属連絡先(住所・電話番号) ⑤ご経験年数

⑥返信先メールアドレス(携帯電話不可) ⑦領収証必要の有無

を明記の上、jsmt@kaisei-hp.co.jp までお送りください。

お申し込みから 1 週間たっても返信がない場合は電話連絡をお願い致します。